

会社案内 2024





“At your side.”の精神で未来を拓く

ブラザーグループは、1908年にミシンの修理業として創業し、以来、115年を超える歴史の中で、事業の多角化、グローバル化を推進してきました。

いつの時代も私たちの活動の根底にあるもの。

それはあらゆる場面でお客様を第一に考える“*At your side.*”の精神で、優れた価値を迅速に提供することです。

ブラザーグループの製品やサービスで、お客様のお役に立ち、喜んでいただくこと。

それが私たちの幸せにつながると考えています。

私たちはこれからも多様な独自技術とグローバルネットワークを生かし、ブラザーならではの価値を創造していきます。

そして事業を通じた社会課題の解決に取り組み、社会の発展と地球の未来に貢献していきます。

ブラザーグループ ビジョン

At your side 2030

あり続けたい姿

世界中の“あなた”の生産性と創造性を
すくそばで支え、社会の発展と地球の
未来に貢献する

価値の提供方法

多様な独自技術とグローバルネット
ワークを強みに、お客様の成功への
ボトルネックを見つけ解消する

注力領域

- ・産業用領域のかけがえのない
パートナーになる
- ・プリンティングのオンリーワンを極め、
次を切り拓く

CONTENTS

コーポレートメッセージ	01
創業の精神と活動の礎	03
ブラザーの歩み	05
グローバル体制	07
事業と製品	
プリンティング・アンド・ソリューションズ事業	09
マシナリー事業	11
ドミノ事業	12
ニッセイ事業	13
パーソナル・アンド・ホーム事業	13
ネットワーク・アンド・コンテンツ事業	14
新規事業	14
サステナビリティ	
サステナビリティ基本方針	15
社会への取り組み	16
環境への取り組み	17
環境への取り組み事例	18
会社概要	
会社情報	19
数字で見るブラザー	20
技術と製品の歴史	21
新しいマーケットを切り拓いた製品	24



ブラザー工業株式会社 代表取締役社長

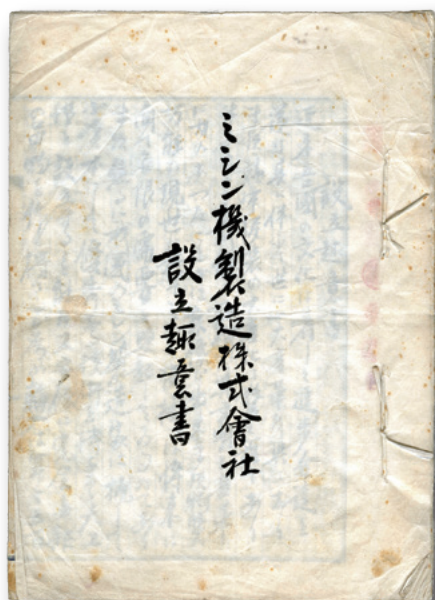
池田 和史

1908年の創業以来、 事業を通して社会に貢献することを目指しています

ブラザーグループは、1908年にミシンの修理業から始まりました。

ブラザー工業の前身となる「日本ミシン製造株式会社」は1934年に設立され、その設立趣意書には、世界恐慌の影響で日本では仕事がなく、ミシンの大半が外国製であった時代背景が反映されており、起業による社会課題解決への熱い思いが込められています。

事業を通して社会に貢献するという「創業の精神」は、今も世界中の従業員に受け継がれています。



設立趣意書

創業の精神

- 働きたい人に仕事をつくる
- 愉快な工場をつくる
- 輸入産業と輸出産業にする

「優れた品質 無言の奉仕」

外国製ミシンがよく故障する、というお客様の困り事を解決するため、創業者兄弟はミシンの修理業を通じて得た製品知識を生かし、麦わら帽子製造用環縫ミシン（昭三式ミシン）を開発、壊れにくいと評判になりました。

お客様に満足していただける製品やサービス（優れた品質）を提供し続けることで、社会に貢献（無言の奉仕）するというこの考え方は企業文化として世界中のブラザーグループに根付いています。



優れた品質 無言の奉仕

BROTHER

お客様や社会の期待に、お応えし続けます

ブラザーグループは、すべての活動の礎である「ブラザーグループ グローバル憲章」を世界中の従業員と共有し、浸透活動を実施しています。

グローバル憲章の基本方針に基づき、事業を成長させ社会的責任を果たすことで、お客様をはじめとするステークホルダーの皆さまとの長期的な信頼関係を構築しています。

**ブラザーグループ
グローバル憲章**
基本方針

1. グループ経営

- ブラザーグループは、あらゆる場面でお客様を第一に考え、モノ創りを通して優れた価値を創造し、迅速に提供する事を使命とする。
- ブラザーグループは、全体最適を実現するグループ戦略のもと、情報共有の徹底と共通の目標を持ち、自律的な企業として優れた経営を行う。
- ブラザーグループは、グローバルな市場から求められる多様な要望や期待にこたえ、迅速に反応し、必要に応じて柔軟な対応を行う。
- ブラザーグループは、積極的に情報共有を図り、定められた事業領域内で得られた経営資源を有効活用し、相互協力のもとお客様中心の事業一貫経営をグローバルに展開する。

2. グループの成長

- ブラザーグループは、より多くのお客様に、提供する価値を拡大させることで成長する。
- ブラザーグループは、価値提供から得られる成果を、従業員への報酬と人材育成、社会への還元、地域社会への貢献に活かす。
- ブラザーグループは、この価値によって企業価値を長期的に高め、従業員にとって誇れる企業となり、未来を共に築き続ける。

3. ステークホルダーとの関係

お客様
ブラザーグループは、あらゆる場面でお客様を第一に考える「At your side」の精神で、優れた価値を創造し、迅速に提供する。そして、お客様との間に長期的な信頼関係を築くことを目指す。

従業員
ブラザーグループは、従業員の多様性を重視し、さまざまな能力を発揮できる環境を、チャレンジングな仕事への機会を提供する。そして努力と成果に対しては、公正な評価と正当な報酬を与える。また、従業員は、社会や地域社会に貢献し、社会全体の発展の目標、目標達成のための努力、水準以上の成長、長期にわたる才能とスキルの開発を促される。

ビジネスパートナー
ブラザーグループは、お取引に際して信頼を迅速に提供する。特に、ビジネスパートナーと公平・公正な取引を行い、相互信頼関係を築いて成長し、共に進む。

株主
ブラザーグループは、株主からいただいた資本を活かし、継続して企業価値を高めることにより、継続的な情報公開を行い、株主との間に長期的な信頼関係を築く。

地域社会
ブラザーグループは、所属する国や地域に対する貢献を期し、地域社会に対する社会的・経済的・文化的責任を可能な限り担うことにより、よりよい社会の実現に貢献する。

環境
ブラザーグループは、持続的発展可能な社会の構築に向け、企業活動のあらゆる面で地球環境への配慮に努め、持続可能な開発目標（SDGs）を推進する。

行動規範

1. 個人に対する敬意と尊敬
私たちは、個人一人ひとりの人格、多様性を尊重し、信頼と尊敬を持って行動します。

2. 誠実精神・倫理観
私たちは、活動する国や地域における風土習慣、慣習を尊重し、文化を尊重します。そして最善の判断を持って行動します。

3. チャレンジ精神・スピード
私たちは常に情報収集に努め、チャレンジ精神と責任を持って、迅速に意思決定し、行動します。

ステークホルダーの定義
「お客様」は、ブラザーグループの製品やサービスと密接に関わり、または関係しているお客様、および将来使っていただくお客様である。
「従業員」は、ブラザーグループで働くすべての人である。
「ビジネスパートナー」は、お客様に価値を提供するすべての過程において、その関係がブラザーグループを豊かにするために不可欠な取引先である。
「株主」は、ブラザー工業の株式を保有している投資家である。
「地域社会」は、ブラザーグループが所在する、さまざまな責任を担うべき地域社会である。

brother
at your side

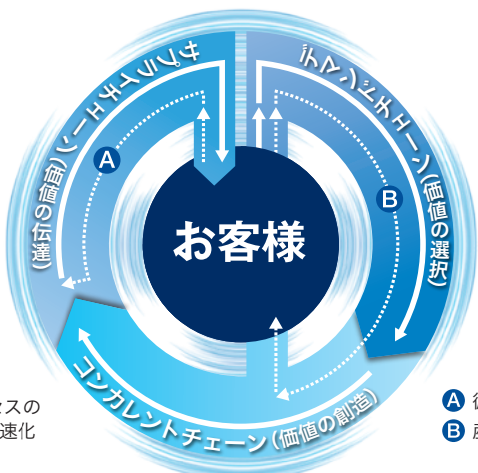


29言語に翻訳して共有



ブラザーグループ グローバル憲章

<https://global.brother/ja/corporate/principle>



↑
BVCMの
基本プロセスの
高度化・高速化

独自のマネジメントシステム ブラザー・バリュー・チェーン・マネジメント (BVCM)

「あらゆる場面でお客様を第一に考え、モノ創りを通して優れた価値を創造し、迅速に提供することを使命とする」(グローバル憲章) — この使命を実現するマネジメントシステムがBVCMです。「お客様の声」を、企画・開発・設計・製造・販売・サービスなどすべての事業活動の原点と考え、迅速に優れた価値をお届けします。この基本プロセスに以下のA,Bを加え、さらなる高度化、高速化を図ります。

- A** 循環型経済に向けたチェーンの双方向化
- B** 産業用領域を中心とした開発段階におけるお客様からのフィードバックに基づく迅速な製品改良

多様な独自技術を生かし、 事業を変革することで、成長を続けてきました

独自の技術開発に注力し、蓄積したコア技術を駆使して
事業の多角化を推進するとともに、
変化を捉え、常に新しい市場を生み出すことで成長してきました。
あらゆる場面でお客様を第一に考えた、
ユニークでオリジナリティーのあるモノ創りが
成長の原動力となっています。



売上収益推移

2015年度以前は日本会計基準の売上高



創業~1940年代 | 輸入産業を輸出産業へ

- 1908 「安井ミシン商会」創設、ミシンの修理および部品製造開始
- 1932 家庭用ミシン15種70型の国産化に成功
- 1936 工業用本縫ミシンの製造を開始
- 1947 家庭用直線ミシンを、上海向けに200台輸出

1960年代 | 海外市場への展開

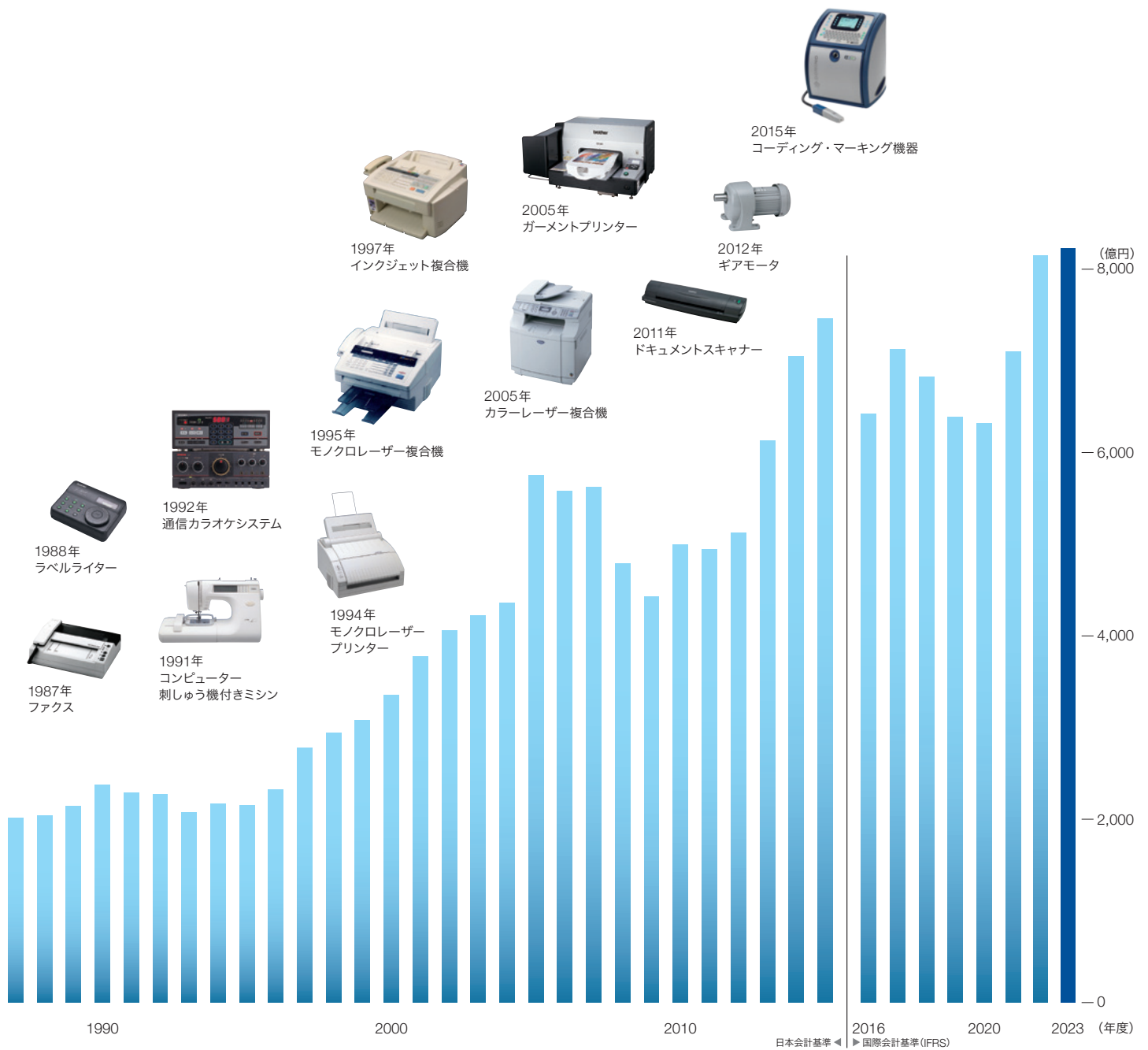
- 1961 米国販売拠点から要請を受け、欧文ポータブルタイプライターの生産開始。事務機器分野に進出
- 1962 ミシンの加工のための社内技術を活用し、タッピングマシンの生産を開始。工作機械分野に進出

1950年代 | コア技術を応用した多角化の推進

- 1954 ミシンで培った技術を生かし、家庭用編機、電気洗濯機の生産を開始。編機、家電分野に進出
- 1954 米国に販売会社として「ブラザーインターナショナルコーポレーション (U.S.A.)」を設立

1970年代 | 高速ドットプリンターの開発と電子化の推進

- 1971 米国・セントロニクス社と共同開発による高速ドットプリンターの出荷開始。プリンティング機器分野に進出
- 1979 家庭用ジグザグミシンZZ3-B820「オーパス8」生産開始(業界初のコンピューターミシン)



1980年代 | 情報通信機器分野への進出と産業機器事業の拡大

- 1984 国産初の個人向け日本語ワードプロセッサの生産開始
- 1985 CNC※タッピングセンターを発売、産業機器事業が飛躍的に発展
- 1987 感熱ファクスのOEM供給を開始。情報通信機器分野に進出

※ Computer Numerical Control コンピューターによる数値制御

1990年代 | SOHO市場の開拓と通信カラオケ事業への進出

- 1992 国内に「株式会社エクシング」を設立。業界初のISDN回線を利用した通信カラオケシステムの販売開始
- 1995 SOHOと呼ばれるワークスタイルに対応した、ファクス、プリンター、コピー、スキャナーなど、1台で複数の機能を持つ小型モノクロレーザー複合機を生産開始

2000年代 | グローバル展開と事業一貫経営

- 2002 中国に製造会社 兄弟工業(深圳)有限公司を設立
 - 2005 プリンターで培ったインクジェット技術を応用したガーメントプリンターの販売開始
- 中国への積極的な生産移管と販売体制の再編により、2000年代にはグループ一体となった事業展開が軌道に乗る

2010年代~ | 事業ポートフォリオの強化とBtoB事業の拡大

- 2013 「株式会社ニッセイ」を連結子会社化。工業用部品事業を強化
- 2015 英国の「ドミノプリンティングサイエンス」を連結子会社化。産業用印刷分野に進出
- 2022 ブラザーグループビジョン「At your side 2030」を始動

世界中のニーズに合った 製品やサービスを グローバルに提供しています

ブラザーグループは、1947年に家庭用ミシンの輸出を開始し、1954年には初の海外販売子会社を米国に設立するなど70年以上にわたりグローバルに事業を展開しています。現在は、40以上の国と地域に、製造・開発・販売の拠点を設け、各地域に根差した事業活動を行うとともに人財など事業の成長を支える経営基盤のグローバル化も推し進めています。

(2024年4月1日現在)

グループ拠点一覧

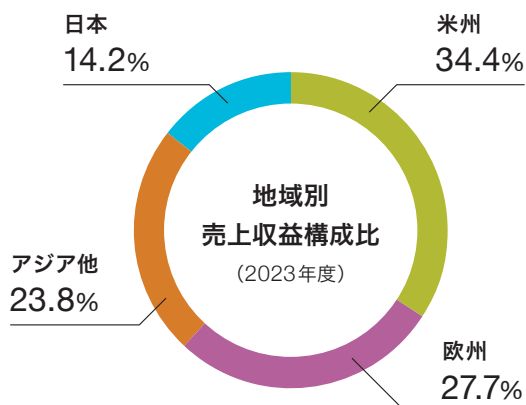
<https://global.brother/ja/corporate/network>



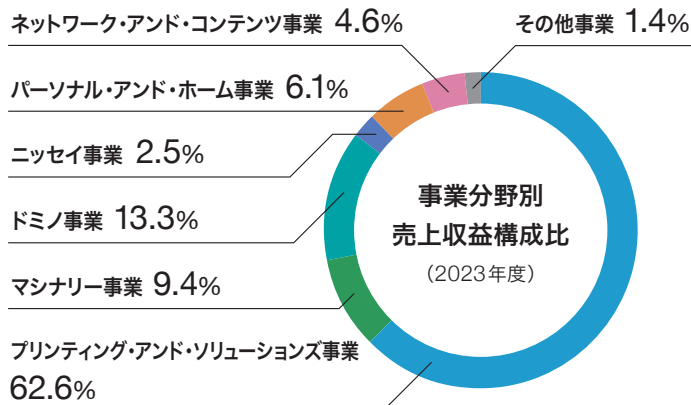
- グループ本社
- 主要事業国内拠点
- その他国内拠点
- 研究開発拠点
- 生産拠点
- 販売・サービス拠点
- ドミノ事業拠点



バランスのとれた地域別売上収益比率



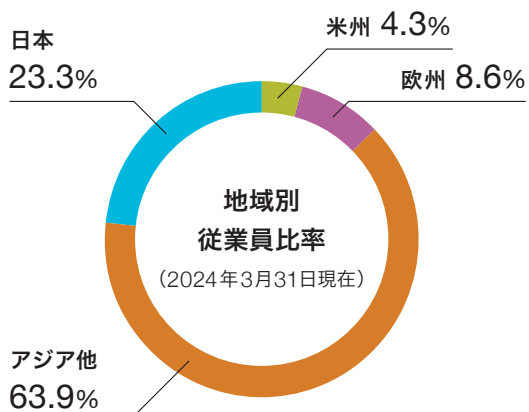
プリンター、産業機器など幅広い事業を展開



連結売上収益 (2023年度) 8,229 億円

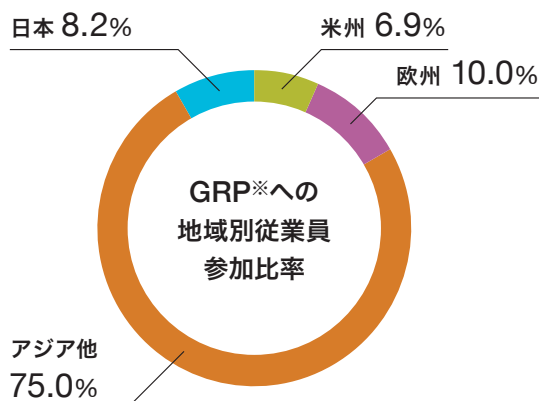


日本以外で働く従業員が7割以上



連結従業員数 (正社員のみ) 40,538人

社会貢献活動への参加をグローバルに推進



※ ゴールデンリングプロジェクト。詳細はP16

事業と製品

ブラザーグループは、あらゆる場面でお客を第一に考え、モノ創りを通して優れた価値を創造し、迅速に提供することを使命としています。

「プリンター・複合機」「ラベルライター・ラベルプリンター」「工作機械」「工業用マシン」「ガーメントプリンター」「コーディング・マーキング機器」「デジタル印刷機」「ギアモータ・歯車」「家庭用マシン」「業務用通信カラオケシステム」など幅広い分野で、ブラザーならではの製品やサービスをお届けしています。

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

コンパクト性を追求したプリンター・複合機、家庭向けから業務用まで幅広いラインアップを持つラベルライター・ラベルプリンターなどを通じ、変化し続けるお客様のビジネスシーンを支えます。

お客様のプリンティングニーズに応える、 多様なソリューションを提供

通信・プリンティング

コンパクトなモノクロ・カラーレーザー複合機、インクジェットプリンターなどを通じて、お客様のさまざまなプリンティングニーズに応えています。

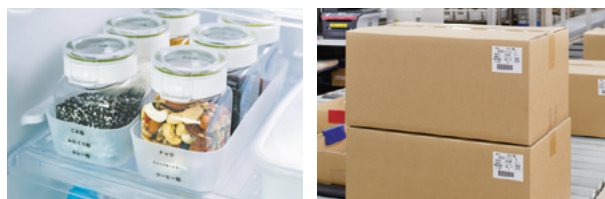
在宅勤務の拡大やオフィスにおける分散型印刷などに対応するとともに、契約型をはじめとしたお客様とつながるビジネスを拡大しています。また、使用済み消耗品の回収など資源循環や廃棄物削減、さらに省エネルギー化など環境に配慮した製品づくりをしています。



ご家庭から製造現場まで、幅広いニーズに応える 高品質で多様なラインアップ

ラベリング

ブラザーのラベルライターおよびラベルプリンターは、高機能で多種多様なラインアップを展開しています。小売・物流・製造業などに向けた業務用ラベルプリンター・モバイルプリンターは、導入しやすいバーコード印刷ソリューションなどの提供に加え、さまざまな用途に対応した消耗品やアプリケーションを拡充しています。



■ **プリンティング・アンド・ソリューション事業**

プリンター／複合機／ラベルライター／
ラベルプリンター／スキャナーなど

■ **マシナリー事業**

工作機械／工業用マシン／ガーメントプリンターなど

■ **ドミノ事業**

コーディング・マーキング機器／デジタル印刷機など

■ **ニッセイ事業**

ギアモーター／高剛性減速機／歯車

■ **パーソナル・アンド・ホーム事業**

家庭用マシン／カッティングマシンなど

■ **ネットワーク・アンド・コンテンツ事業**

業務用通信カラオケシステム／カラオケ店舗運営／
コンテンツサービスなど



モノクロレーザー複合機



カラーレーザー複合機



スキャナー



インクジェットプリンター



モバイルプリンター



ラベルライター



ラベルプリンター

マシナリー事業

自動車や一般機械などの部品加工に最適な工作機械に加え、使いやすさ、高品質な縫製、省エネを実現した工業用ミシン、衣料品のデジタル印刷ニーズに応えるガーメントプリンターなどを通じて、お客様の生産性向上と新たな価値創出に貢献しています。

高い省エネ性能・加工能力で、生産性向上を追求

産業機器

ブラザーの産業機器は、ミシンの重要部品を製造する工作機械の自社製作から生まれました。

コンパクトでありながら高い生産性と省エネ性能が、自動車・一般機械などの部品加工において高い評価を得ています。製品ラインアップの拡充や加工部品を自動で搬送・供給できるオプション装置など周辺機器の開発を進め、さらなる生産現場の価値創出に貢献しています。



工業用ミシン



大判プリンター



高い生産性と安定した縫製品質を実現、表現豊かな発色と高精細な印刷品質で多品種少量生産・大量生産に対応

工業用ミシン・ガーメントプリンター・大判プリンター

ブラザーは、布帛（綿、麻などの織物）の縫製において、常に工業用ミシン業界をリードしてきました。高速縫製と美しい縫い目を実現し、エアバッグや靴などを生産するお客様から高い評価を得ています。ガーメントプリンターは、オフィス用プリンターで培ったインクジェット技術により、布への印刷の高速化と精細な印刷品質を実現し、多品種および大量印刷需要にお応えしています。大判プリンターは、ガーメントプリンターで培ったインクとプリントヘッドの自社技術を生かし、新たにサイン・ディスプレイ用途向けに開発した製品です。



工作機械



ブリッジ型 プログラム式電子ミシン



ガーメントプリンター

ドミノ事業

ペットボトル、缶、食品の包装などに賞味期限、ロット番号などを印字するコーディング・マーキング機器 (C&M分野) と、商品パッケージの多種少量化や短納期化に応えるデジタル印刷機 (DP分野) を提供し、消費者保護やトレーサビリティの確保、工場における生産性向上などに貢献しています。

多様なニーズに応える 産業用印刷機器

医薬品の包装などに使用期限などを印字するC&M分野では、グローバルでトップクラスのセールス・サービスネットワークを誇り、日用消費財で拡大するトレーサビリティの課題解決に貢献しています。また、商品のパッケージラベルなどを印刷するDP分野は、高い生産性を誇り、ラベル印刷業界の課題である多種少量化対応、廃棄削減に貢献しています。



コーディング・マーキング機器

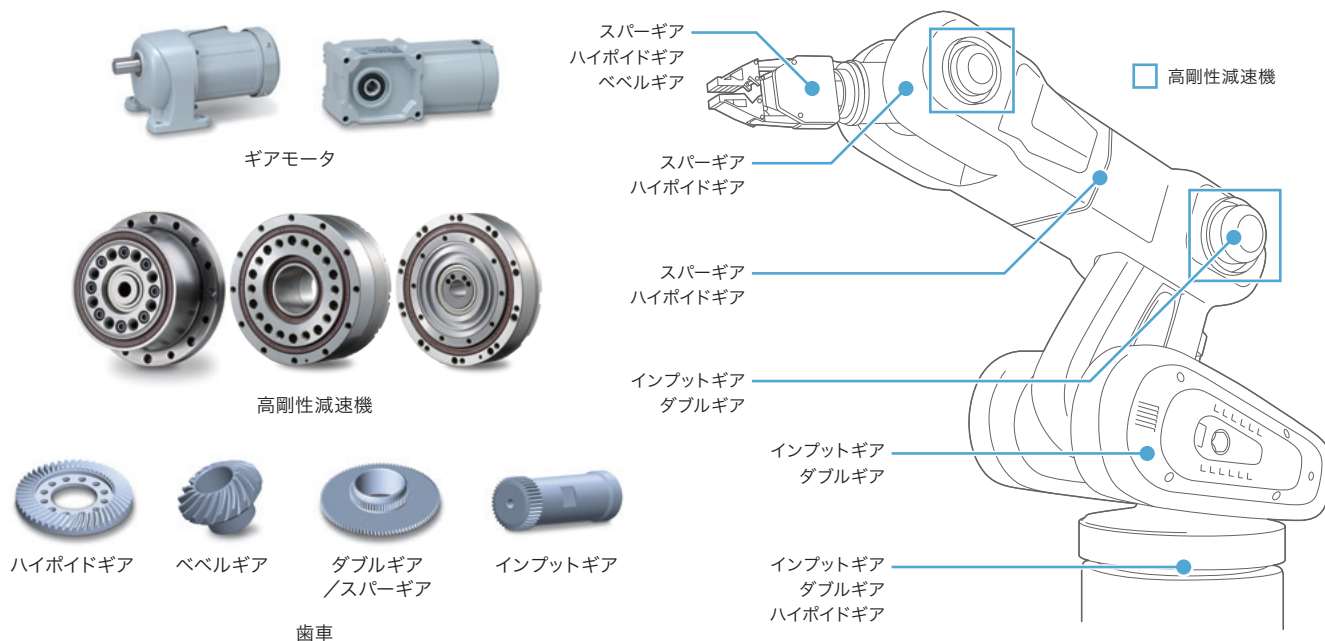


デジタル印刷機

事業と製品

ニッセイ事業

幅広い製品バリエーションを持つギアモータ、産業用ロボットやFA機器の駆動を担う高剛性減速機、高精度・高品質な歯車などを通じて、拡大が予想される自動化・省人化分野など、多様化する顧客ニーズに的確に対応し、お客様の価値創出に貢献しています。



パーソナル・アンド・ホーム事業

家庭用ミシンを中心に、カッティングマシンなど、お客様の創造性の発揮を支援する製品やサービスで、手作りの楽しさを提案しています。高級刺しゅう用ミシンでは、IoTを活用し手作りの新しい可能性を広げます。



ネットワーク・アンド・コンテンツ事業

業務用通信カラオケシステム「JOYSOUND」を開発・提供するとともに、通信カラオケで培った配信技術を活用したサービスや製品・コンテンツを提案することで、新たな顧客価値を追求しています。



JOYSOUND X1※
業務用通信カラオケシステム



健康王国DX
介護市場向けサービス



X PARK
エンターテインメント・プラットフォーム

※ Hi-Res Audioロゴは日本オーディオ協会のライセンスを受けて使用しています
ミュージックは、CDスペックの素材波形を音響処理によりハイレゾ相当に変換したものとなります



さまざまなジャンルの映像をお近くのカラオケルームで楽しめる映像視聴サービス



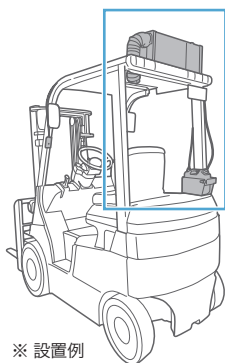
スマートフォンをカラオケのリモコンとして使えるアプリ

新規事業

長い歴史の中で培われたブラザーグループの多様な独自技術を生かし、社会の変化に迅速に対応した新たな製品・サービスで、社会課題の解決に貢献していきます。



EcoPro Awards
エコプロアワード
第5回優秀賞



※ 設置例

フォークリフト搭載
スポットクーラー

排熱レス&フロンレスで高い冷却効果が得られるスポットクーラーを、フォークリフト用に小型化



BuddyBoard

資料などに書き込んだ内容をリアルタイムに複数人と共有できるiPad用手書きノートアプリ



水素燃料電池&蓄電池の
ハイブリッドUPS※

燃料ユニット、発電ユニットを有し、空港などの重要なインフラで利用される電気機器を停電から守るハイブリッドUPS

※ Uninterruptible Power Supply (無停電電源装置)の略。



エアロゾルクリーナー

空気中に漂う微粒子(エアロゾル)を二つのファンで素早く吸引する小型空気清浄機

サステナビリティ

サステナビリティ基本方針

ミシンの修理業から始まったブラザーは、働きたい人に仕事をつくるために輸入産業を輸出産業にするという志のもと、ミシンの生産を始めました。

壊れにくい国産ミシンを作ろうという思いは、お客様を第一に考える“*At your side.*”の精神として、すべての活動の礎である「ブラザーグループ グローバル憲章」に受け継がれ、お客様への価値提供を増大させ、そこから生まれる成果をステークホルダーや地球環境への貢献に活かすことで企業価値を高めてきました。

ブラザーグループはこれからも、お客様の課題、ひいては社会の課題に向き合い、取り組むべきマテリアリティ（重要社会課題）を定め、解決することで、「世界中の“あなた”の生産性と創造性をすぐそばで支え、社会の発展と地球の未来に貢献する」というビジョン「*At your side 2030*」の実現、および国連が定めた「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成を目指してまいります。

ブラザーのマテリアリティ

	マテリアリティ	関連するSDGs項目
社会の発展	人々の価値創出の支援	3 持続可能な成長と雇用創出、8 働きがいも、賃金も、8 働きがいも、賃金も、9 産業と地域発展の推進、12 つくって、つなぐ、13 気候変動に具体的な対策を、17 パートナリシップで目標を達成しよう
	多様な人々が活躍できる社会の実現	3 持続可能な成長と雇用創出、4 質の高い教育をみんなに、5 ジェンダー平等を推進しよう、8 働きがいも、賃金も、17 パートナリシップで目標を達成しよう
	責任あるバリューチェーンの追求	3 持続可能な成長と雇用創出、4 質の高い教育をみんなに、5 ジェンダー平等を推進しよう、8 働きがいも、賃金も、10 人や国の不平等をなくそう、17 パートナリシップで目標を達成しよう
地球の未来	CO ₂ 排出削減	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに、12 つくって、つなぐ、13 気候変動に具体的な対策を、17 パートナリシップで目標を達成しよう
	資源循環	6 安全な水とトイレを世界中に、11 持続可能な消費と生産、12 つくって、つなぐ、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさも守ろう、17 パートナリシップで目標を達成しよう

事業における社会課題解決

省エネを実現する技術

工場では、CO₂排出削減など環境への負荷軽減と、高い生産性の両立が求められます。マシナリー事業のコンパクトマシンングセンタ「SPEEDIO (スピーディオ)」シリーズは、高効率IPMモータ、電源回生システムの採用、エア流量の見直しなどさまざまな無駄を省き最適化することで、高い回生電力を発生させるため、省エネルギーを実現しています。

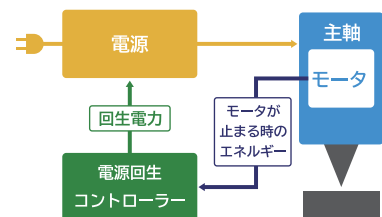


主軸モータにIPMモータを採用

IPMモータは、回転子（ロータ）に内蔵された永久磁石により磁束を発生させるためモータ電流が少なく、通常の誘導モータと比較して効率が良く瞬時に起動。

電源回生システム

サーボモータの減速時に発生するエネルギーを再利用する電源回生技術を搭載。



電源回生システム

社会への取り組み

SDGsをテーマにした社外取締役による講演会

ジェンダー平等とリーダーシップの発揮

社外取締役の白井氏によるオンライン講演会と、執行役員とのトークセッションが行われ、国内外から約400人の従業員が参加しました。講演会では、白井氏のSDGsに対する考え方や、ジェンダー平等を実現するために取り組んできた活動が紹介されました。トークセッションでは、要職に就いた女性としての経験から、さまざまな人に協力を得るために立場や役割の違う人々をどのように巻き込んだのかなど、多様なリーダーシップの発揮方法が紹介されました。ブラザーグループではSDGsを「じぶんごと」として捉え、考える機会の提供や、多様性を尊重する意識の醸成などに取り組むことで、多様な人々が活躍できる社会を実現していきます。



地域および人づくりを意識した社会貢献活動 ゴールデンリングプロジェクト

グローバルでがん患者を支援

ブラザーグループでは、グローバルに一体感を持った従業員参加型の社会貢献活動を推進しています。その一つががん患者を支援する活動で、各拠点へ活動をつなげ、世界地図に支援の輪を描いていくことから「ゴールデンリングプロジェクト（以下、GRP）」と命名しました。GRPに取り組む拠点の大半は、チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ（以下、RFL）」に参加しています。RFLでは、参加者が寄付を行うとともに24時間歩き続けることで、常のがんと向き合っている患者を励まし、がんに対する意識を高めています。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた2020年度以降、このプロジェクトはオンラインを活用するなど各拠点で工夫を凝らして実施されています。ドイツおよびオーストリアでは、2022年度以降、5つの販売拠点が事業の枠を越えて協働し、ランニングイベントに加えてオンラインイベントを行うことで、多くの寄付を集めることができました。このような取り組みを通じて、ブラザーグループは社会課題の解決に貢献していきます。



継続的な震災復興支援

震災を風化させない

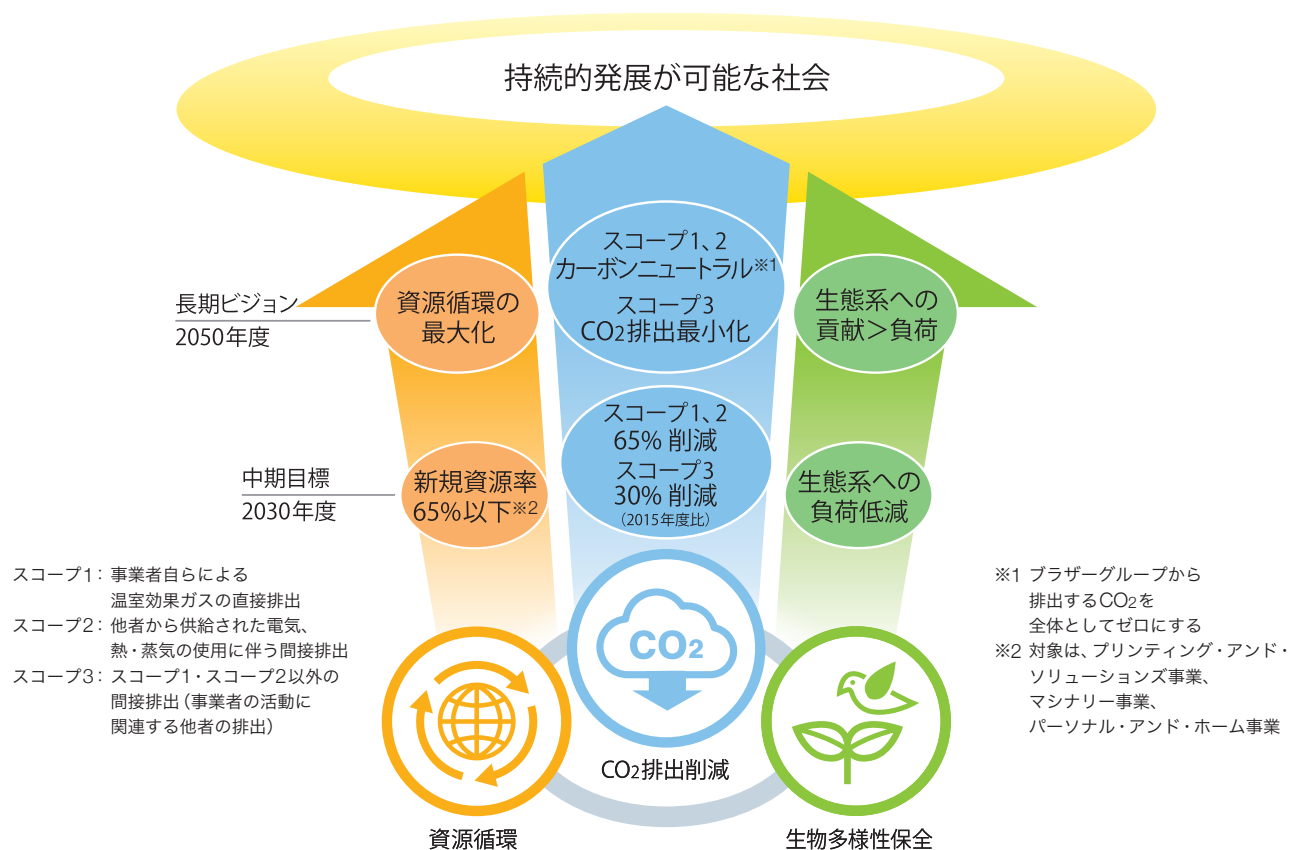
東日本大震災から13年、ブラザーグループは宮城県七ヶ浜町など被災地の皆さんと対話を重ね、ニーズに寄り添いながら支援や交流を継続しています。震災直後に開設した復興支援のグループ従業員寄付制度「絆ファンド」を通じて「きずな公園」や「きずな図書室」などの支援とともに、トークリレーなどのイベントを通じて交流しています。また宮城県や福島県で活動するNPO法人や、福島県浪江町などにも支援を広げ、岩手県の久慈・盛間を走る三陸鉄道では「ブラザー号（愛称）」を運行しています。ブラザーグループはこれからも被災地の皆さまとの交流を深め、寄り添うコミュニケーションを大切にしていきます。



環境への取り組み

ブラザーグループ 環境ビジョン2050

「ブラザーグループ 環境ビジョン2050」は、エネルギーや資源を使用し、紙や糸、布などの生物由来の物を使用する製品を提供する企業として、気候変動や資源枯渇、環境汚染、生態系破壊といった社会的な重要課題をブラザーグループの事業上のリスクとして捉え、長期的かつ継続的にその解決に取り組むことを明確にしたものです。



CO2排出削減「2030年度中期目標」はパリ協定の「1.5°C目標」達成のための科学的根拠に基づく削減目標としてSBTイニシアチブから認定を取得。



TCFD提言に賛同し、より一層の気候変動対策を推進

ブラザーグループは、2020年2月に「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」提言に賛同を表明しました。



このTCFDの提言に基づき、プリンティング・アンド・ソリューションズ事業、マシナリー事業、パーソナル・アンド・ホーム事業および新規事業について、気候変動が事業に及ぼすリスクと機会に対するシナリオ分析を実施し、関連する情報を開示しました。今後はドミノ事業など、分析範囲を拡大し、情報開示の充足に努めてまいります。

環境への取り組み事例

CO₂排出削減の取り組み

太陽光発電設備（パネル）の設置をグローバルで加速

2023年度に日本では星崎工場と技術開発センターに、海外では兄弟高科技（深圳）有限公司、ブラザーインダストリーズ（ベトナム）Ltd.、ブラザーインダストリーズ（フィリピン）Ltd.に太陽光パネルを新たに設置しました。これらの合計出力は約6,700kWです。この取り組みにより、ブラザーに設置している太陽光パネル合計出力は、2021年度と比べておよそ16倍に増加しました。

なお、2022年度に太陽光パネルを設置した港第1倉庫においては、オンサイト・オフサイト複合型PPA※を導入し、太陽光パネルで発電した電力を港第1倉庫で自家消費するとともに、発生した余剰電力をブラザーミュージアム、ブラザー本社ビルに送電し、再生可能エネルギーの効率的な活用を行っています。これは中部エリア初となる、再生エネルギーの導入拡大につながる先駆的な取り組みです。



※ Power Purchase Agreement（電力販売契約）の略。施設所有者が提供する敷地や屋根などのスペースに太陽光発電設備の所有、管理を行う会社が設置した太陽光発電システムで発電された電力をその施設の電力使用者へ有償提供する仕組み

資源循環

未来の地球環境のために、リサイクルの可能性を切り拓く

ヨーロッパでは、リサイクルに適したトナーカートリッジの開発により2004年からリサイクルがスタート。リサイクル自動化システムの導入により、リサイクルしたカートリッジも新品同等の高品質でお届けしています。

2023年にはスロバキアの工場で生産されているリサイクルトナーカートリッジが、再生カートリッジでは世界で初めて、ドイツの環境ラベル「ブルーエンジェル」認証を取得しました。



生物多様性保全

森林分野で公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン（以下、WWFジャパン）との協働を開始

ブラザー工業は、世界各地で森林保全活動や持続可能な生産と消費の促進を行っているWWFジャパンとパートナーシップを結びました。ブラザーは、WWFジャパンが行う森林保全活動への寄付やサステナビリティに関する情報交換を通じて、これまで以上に生物多様性保全に貢献していきます。

生物多様性のための30by30アライアンス

ブラザー工業は2023年10月、生物多様性保全に向けた取り組みを積極的に展開するため、環境省が発足した有志連合による「生物多様性のための30by30※1アライアンス」に参加しました。これに加えて、2008年から環境保全活動を行ってきた「ブラザーの森 郡上」が、30by30目標を達成するための自然共生サイト※2として環境省に認定されました。

ブラザーグループは上記の取り組みに加え、「Cool Earth Eco-Rewards initiative※3」の推進によるペルーの熱帯雨林や絶滅危惧野生動物の生息地を保護する活動、タイでのマングローブ林の再生プロジェクトや中国における砂漠化防止プロジェクトなど、今後も世界各地で生物多様性保全の取り組みを推進していきます。



※1 2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全するために、2021年のG7サミットにおいて合意された目標

※2 30by30達成に向けて民間の取り組みなどによって生物多様性の保全が図られている区域で、国が2023年度から認定を開始

※3 トナーやインクカートリッジなどの消耗品の回収量に応じた資金をクールアースに寄付する活動

会社概要

会社情報



ブラザー本社

展示館・ショールーム



商号	ブラザー工業株式会社 (BROTHER INDUSTRIES, LTD.)
本社所在地	〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号
設立	1934年1月15日
資本金	192億9百万円
従業員数※	40,538人(連結) 3,877人(単独)※ 正社員のみ 2024年3月31日現在

ブラザーミュージアム

ブラザーミュージアムは、皆さんとブラザーをつなぐ展示館です。115年を超える「モノ創り」の歴史と進化を、製品展示を通して紹介するとともに、世界中から集めた貴重なマシンコレクションを展示しています。

所在地：〒467-0851 名古屋市瑞穂区塩入町5番15号

開館時間：10:00～17:00

休館日：土・日曜日、祝日、ゴールデンウィーク、夏季連休、年末年始
※ 開館予定日でも、イベントなどの実施により休館にすることがあります。

WEB： <https://global.brother/ja/museum>

TEL：052-824-2227 FAX：052-824-2069

ブラザー東京ショールーム

ブラザー東京ショールームは、ビジネス用途のブラザー製品やソリューションを体験できるスペースです。1Fはプリンティング製品、2Fはオーダーグッズビジネス製品を展示しています(予約制)。

所在地：〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目3番8号

開館時間：10:00～17:00

休館日：土・日曜日、祝日およびブラザー販売指定休業日

※ 開館予定日でも、イベントなどの実施により休館にすることがあります。

WEB： <https://www.brother.co.jp/corporate/bsl/showroom/tokyo/>

TEL：03-3281-1125 FAX：03-3281-4462

ブラザーテクノロジーセンター

ブラザーテクノロジーセンター(刈谷ショールーム)では、工作機械の実機デモやセミナー、SPEEDIOに最適なツールの紹介などを実施しています。

所在地：〒448-0803 愛知県刈谷市野田町北地蔵山1番地5

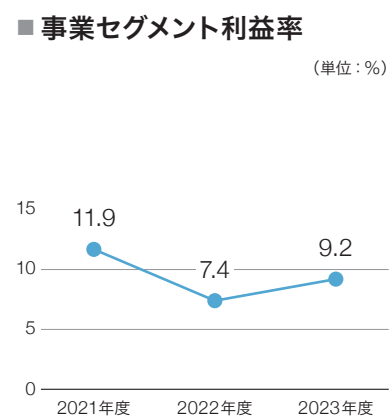
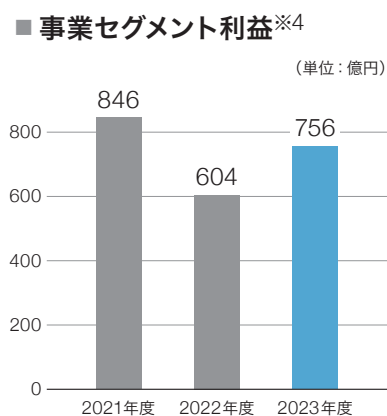
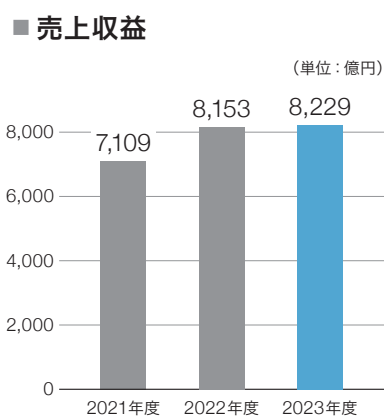
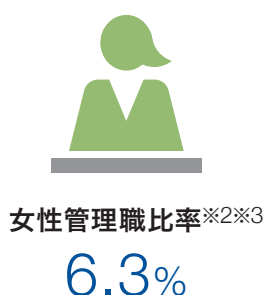
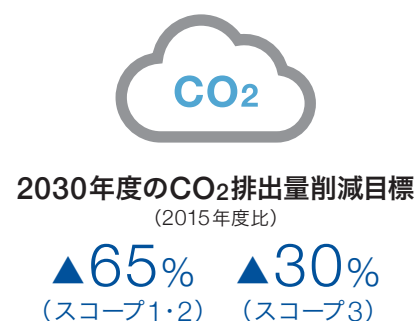
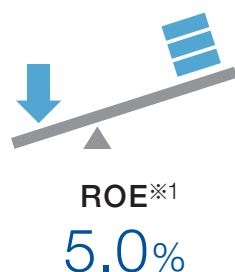
ブラザー工業株式会社 刈谷工場内

営業時間：平日 10:00～17:00(弊社休業日を除く)

WEB： <https://www.brother.co.jp/product/machine/branch/kariya/>

TEL：0566-95-0075 FAX：0566-25-3721

数字で見るブラザー



※1 2023年度 ※2 2024年3月31日現在 ※3 ブラザー工業単独 ※4 売上収益から売上原価、販売費および一般管理費を控除して算出

技術と製品の歴史

1920

1930

1940

1950

1960

1970

1980

1990

2000

コア・テクノロジー

ミシン専業の時代

メカ技術による多角化の時代

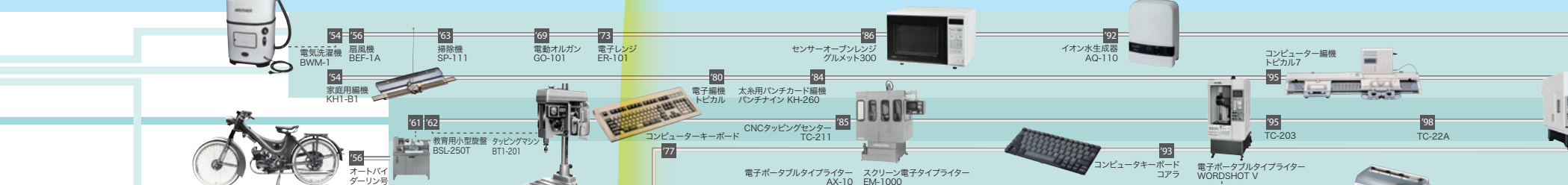
メカトロニクスの時代

ネットワーク・コンテンツの時代

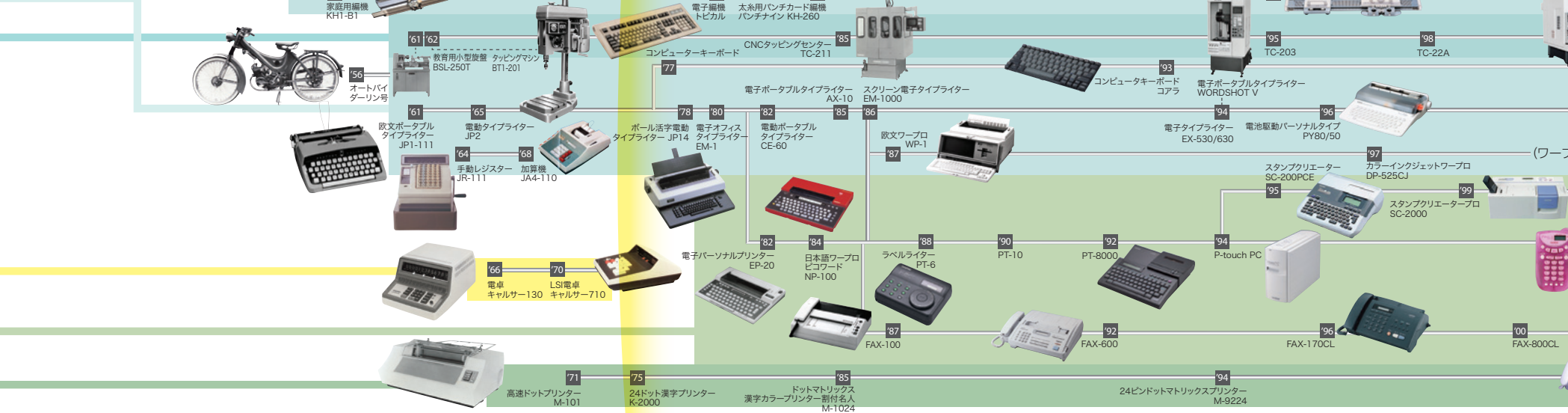
表面焼入れ技術
鑄造技術
木工技術
切削技術
モーター技術



プレス技術



精密加工技術



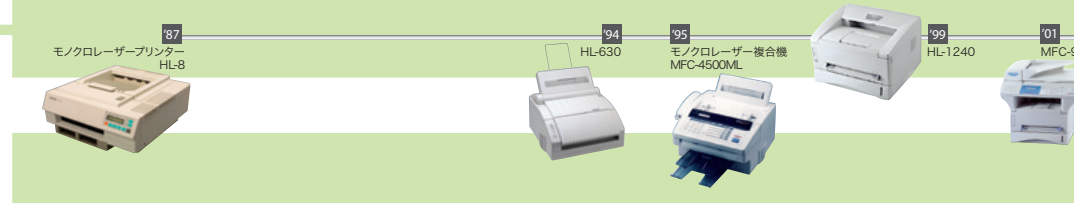
電子技術

サーマル
印字技術

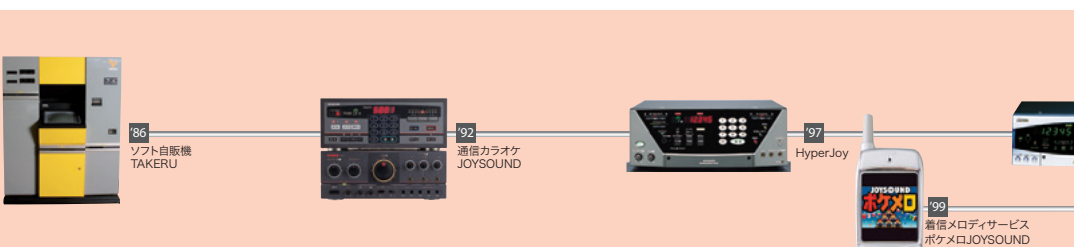
ドットインパクト
印字技術

電子写真技術

インクジェット
印字技術



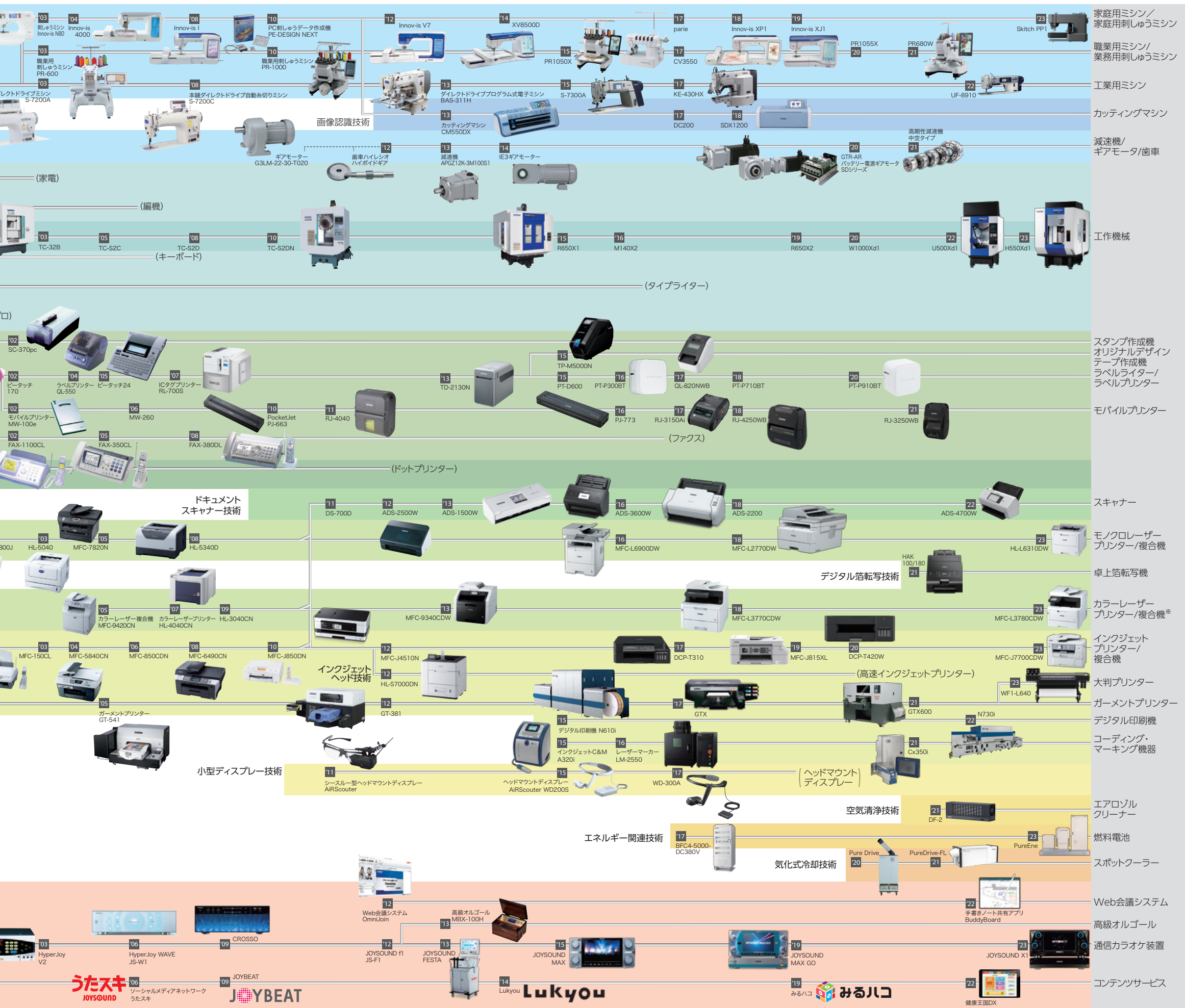
通信技術



※ LED方式含む ()内の製品カテゴリーは現在生産しておりません。

プリンティングの拡大・産業用領域の時代

製品カテゴリー



新しいマーケットを切り拓いた製品



ブラザー初の家庭用ミシン

創業者兄弟の兄、安井正義が外国製ミシンが独占している市場に疑問を抱き、ミシンの国産化を志したのは1921年。兄弟で力を合わせ、生産に必要な機械設備を自らの手でつくり上げながら、1932年にミシンの最重要部品であるシャトルフックの量産化に国内で初めて成功。同年、家庭用ミシン1号機を完成させ、長年の夢であったミシンの国産化を実現しました。



タイプライター

要となる精密な活字の金型用テンプレートを独自技術によって開発し、製品化を実現したブラザーのポータブルタイプライター。1961年、当時需要が高まっていた米国で発売。米国市場の他社製品と同等の性能ながら、手ごろな価格がたちまち人気を博し、その後「事務機のブラザー」のイメージを築く礎となりました。



工作機械

“製品をつくる機械も自分でつくる”という創業時のポリシーと、培った技術により、1960年代以降、教育用小型旋盤やタッピングマシンなどの工作機械を製品化。1985年にはコンピューターによる自動加工が可能なCNCタッピングセンター「TC-211」を発売し、産業機器事業はブラザーの主要事業の一つへと発展していきます。



小型複合機

1995年にファクス・プリンター・コピーなどの機能を1台に集約したモノクロレーザーの小型複合機を発売。小型複合機のパイオニアとしてSOHO市場でシェアを伸ばし、1997年にはカラーインクジェット複合機を発売。プリンティングのブラザーとして、事業を飛躍させるきっかけとなりました。



通信カラオケシステム

1986年に開発したパソコンソフトの自動販売機「TAKERU」は、ISDN回線を利用してパソコンソフトをフロッピーディスクにダウンロードできるという、当時としては最先端の技術を活用したシステムでした。事業としては成功しなかったものの、このTAKERUの通信技術が、のちに業務用通信カラオケシステムという新市場開拓への足掛かりとなりました。



産業用印刷

2005年発売のガーメントプリンターは、プリンターで培ったインクジェット技術やメカ技術に特殊インク技術を組み合わせ・応用し、布に印刷できるプリンター。産業用インクジェットプリンターは、食品の賞味期限や医薬品のトレーサビリティコードなど多用途での印刷で活躍。新たな市場を切り拓いています。

グループ企業情報

<https://global.brother/ja/corporate>

株主／投資家情報

<https://global.brother/ja/investor>

サステナビリティ

<https://global.brother/ja/sustainability>

SDGsスペシャルサイト「ブラザー SDGs STORY」

<https://sdgsstory.global.brother/j>



よりよい地球環境を、あなたとともに。

Brother Earthはブラザーグループの環境スローガンです。



ブラザー工業株式会社

〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号
URL: <https://global.brother/ja>

発行／2024年7月